



**宮本** 伊予市全体のこととは分からないので、佐礼谷地区についてお話します。人口600人弱の山間の集落ですが、地区の課題や問題については各区長を中心に住民が集まって解決策を話し合っています。ですから一度決まったことは住民同士が協力し、一致団結するところが佐礼谷地区の良いところだと感じています。

**伊予市の良いところ、好きなところ**

**伊予市は自然が豊かで、  
住みやすく、人が温かい。**

**相田** 伊予市は生活する上でとても良いところだと思います。全国区の観光名所はありませんが、海も山もあります。交通面では高速道路、JR、私鉄もあり、松山空港までは車で約30分。また四季折々の農産物や海産物がたくさん獲れます。

**伊藤** 私は完全なイターンですが、伊予市は地理的環境が素晴らしいですね。海も山もあり、夏も冬もスポーツが楽しめるので、子どもがいる私の家族にとって是最適な場所です。子育てや子どもの教育面から見ても申し分ないですね。また移住に関しては、住民団体の「双海人（ふたみんちゅ）」にお世話になりましたが、正直な対応に伊予市の好感度が

上がりました。そういう部分も含め、伊予市は人にも恵まれていると思います。

**西山** 私は伊予市で生まれ育ちましたが、住みやすいだけでなく、地域住民の繋がりがとても深いところも魅力の一つだと思います。小中学校時代の登下校時は地域の方が挨拶を返してくれるだけでなく、学校のことなどを話しかけてくれ、いろんな方と会話をすることで地域や伊予市のことがもっと好きになりました。

**西田** 私は結婚を機に高知県から伊予市に移り住みました。私の田舎に比べると伊予市は大きな街ですが、人が温かいと感じています。ベビーカーで買い物に行くと初対面の方が子どもに優しく声をかけてくださいます。地理的な部分では県都松山市が近いですが、海や山もあって、本当に住みやすい街だと思います。

**利岡** 私は宇和島出身ですが、子どもが幼稚園に入るのを機に

### 伊予市を語る、座談会メンバー



|                                                |                                         |                                        |                                               |                                               |                                              |                                          |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------|
| 【障がい者団体代表】<br>利岡 義親さん<br>伊予市視覚障害者協会副会長<br>米湊在住 | 【子育て世代】<br>西田 るいさん<br>団体職員で3児の母<br>中村在住 | 【大学生】<br>西山 芽衣さん<br>聖カタリナ大学学生<br>上三谷在住 | 【県外からの移住者】<br>伊藤 洋一さん<br>市内でパン屋を経営<br>双海町上灘在住 | 【NPO 法人代表】<br>相田 春代さん<br>NPO法人はるうらら代表<br>大平在住 | 【自治会代表】<br>宮本 清隆さん<br>住民自治されだに代表<br>中山町佐礼谷在住 | 【伊予市長】<br>武智 邦典<br>平成25年に市長選初当選<br>現在2期目 |
|------------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------|

## 市長 × 市民 座談会

# 伊予市の今と未来

豊かな自然や独自の文化に恵まれた伊予市では、その特長を生かしたまちづくりが進んでいます。そんな伊予市の魅力やまちづくりの課題について伊予市民の皆さんと市長が語り合いました。



Iyo City is blessed with natural beauty and a unique culture. The city has worked on city planning to make best use of these characteristics. The mayor has meetings with citizens to discuss the attractive features as well as challenges that the city has. The citizens' comments have included such things as "The city is surrounded by natural abundance and is easy to live in," and "People are warm and friendly." "We'd like to try to solve issues, if there are any, in cooperation with each other."





## 伊予市の課題・問題点

家を建てることになり、宇和島の自然環境に近い伊予市を選びました。ご近所さんが採れたての野菜を持ってきてくれるなど、人にも恵まれています。また趣味のランニングでは、海岸沿いの道は沈む夕日が美しく、山側の道からは松山の夜景が一望できるなど、走っていて楽しい街ですね。



**市長** さまざまな地区からお集まりいただいた皆さんが、それぞれに感じている「伊予市の良いところ・好きなところ」をお聞かせいただき、耳障りがいいですね（笑）。その良いところを今後どのようにに未来に伝えていくのかをしっかりと考えるのが、行政の役割だとあらためて感じました。

## 宮本 一つは企業誘致です。地元

で働く場所を確保できれば、若者の定着に繋がりますし、税金面でも市全体が潤うと思います。二つ目は災害対策です。2年連続で豪雨災害が発生し、佐礼谷地区は相当な被害が出ました。水路や水田の修復は農家の自己負担なので、少しでも補助があれば助かります。三つ目は害獣対策です。近年、イノシシなどによる農作物被害が続出していますので、例えばイノシシの解体場を作り、地域資源にするなどの対策を期待します。住民自治については、やる気のある地域には補助を手厚くするなど、メリハリのある支援をお願いします。

**相田** 市の財政事情を考えると「NPO法人はるうらら」への金銭的な支援は期待していません（笑）。ただし私たちの活動は賛助

金や寄付金で成り立っていることを、もっと行政の方に知っていただきたいです。

**伊藤** “外から来た目線”で話ししますが、伊予市の知名度が低いというのが問題だと思っています。週末に市外から人が来ても通過点でしかなく、ビジネスが広がりません。滞在時間を長くするような策が必要だと感じています。伊予市には魅力的な資源がたくさんあるので、そういった資源をうまく活用しないと、本当にもったいないと思います。



**西山** 一番の問題点は、残っている若い人たちが伊予市にそれほど関心を持っていないことだと思います。自宅に届く広報紙の存

## 地域の問題は、地域住民の

## 力で解決していきたい。

ルもして欲しいと思います。

**市長** 貴重なご意見、ありがとうございます。まず宮本さんのご意見ですが、企業誘致については私自身も重要案件であると認識しています。豪雨災害ですが2018年は伊予市でも多額の被害が出ており、水路や水田の復旧にまで補助金が行き届いていませんが、今後は考えていく必要があると思います。害獣対策としてイノシシの解体場設置のご提案がありました。行政としては財源も含め慎重に検討する必要があります。補助金の在り方ですが、地域からのアイデアをいただきながら今後の展開を考えていきたいと思っています。

相田さんからは「行政が住民

活動に興味を持って欲しい」というご要望がありました。高齢者のために頑張っておられることは認識しております。今後さまざまな住民活動を広報紙で取り上げ、皆さんにご紹介したいと思っています。

一方で西山さんからは「若い人は広報紙を見ていない」という指摘がありましたので、SNSなども含め若い人にも見てもらえる広報にしていきたいと思っています。

伊藤さんからは伊予市の知名度の低さと、通過点になっていることが問題提起されました。伊藤さんが住まれている双海地域には、夕日で有名な下灘駅以外にも多くの観光資源があります。このような資源を近畿圏や関東

在を知らない人もいますので、伊予市のことをもっと知ってもらうためにSNSを活用するなど、若者へのアプローチ方法を考えていくべきだと感じています。

**西田** 働く母親としての観点から考えました。現在、保育所の入所決定は、子どもを預け始める月の前月の20日ごろになるので、これでは職場復帰への準備も大変です。もう少し早く決定してもらえば、働く母親としてはとても助かります。またお迎え時間は18時ですが、勤務先によっては間に合わない場合もあるので、もう少し時間の融通が利くようにして欲しいと思います。

**利岡** 視覚障がい者の立場からいうと、旧市街の道路は傾斜や凸凹が多くて歩きづらいし、音声が出る信号も少ないと思います。高齢者の方と同じことを感じていると思うので、予算の問題は別として、誰に対しても住みやすい街になるよう整備し、アピー

圏の人たちにもアピールし、知名度向上を図りたいと思います。

西田さんは保育所の課題を挙げていただきましたが、確かに閉所が18時だと迎えに来るのが難しいお母さんが多いと思います。人員の問題もありますので、もう少し検討させていただきたいと思っています。

利岡さんの道路のご指摘はおっしゃる通りです。財源や設計上の問題はありますが、できる限り、すべての人が住みやすい環境を目指していきたいと思っています。

私ができること、  
行政にしたいこと

**宮本** 佐礼谷地区では、地域住民自らの力で住みやすい街にすることを目指しており、自分たちの手でイベント活動やブランド開発、美観保全活動、PR活動などを繰り返しています。2019年度にはスマートインターチェンジ



**宮本** 佐礼谷小学校がいつまでも存続できるように、大勢の人に

### 私が考える 未来の伊予市

利岡さんのおっしゃる通り、これからは障がい者も健常者も安心して住めるまちづくりが必要です。さまざまな方のご意見を伺いながら、バリアフリー化を含めたまちづくりを進めたいと思います。

多くいますので、総合的に考えていきたいと思っています。  
西田さんからのご意見については、働いているお母さんにも配慮し、交流の場を土日にも開催できるように検討していきたいと思っています。

## 子どもたちの夢が叶う 素敵な街になって欲しい

訪れてもらえるようなまちづくりを続けていきたいと思っています。

**相田** 伊予市の良さを10年後も維持するために、地域住民の方たちと力を合わせて、伊予市全体を盛り上げていきたいと思っています。



**伊藤** 10年後もパン屋を続けていたいと思いますし、同時に小さなビジネスが地域内で発展し、年間を通してお客さんが訪れてくれるような場所になっていて欲しいですね。

**西田** 10年後、高校生になった私の子どもたちが進路を考えていると思います。長男は今「じいちゃんと一緒に農業がしたい」、次男は「この消防署に勤めたい」と言っているので、そんな夢を実現できる住みよい伊予市のままでいて欲しいです。



**西山** すべての世代の人が伊予市に関心を持ち、それぞれの地域の人たちが連携して伊予市全体のまちづくりに取り組んでいる、元気な街になって欲しいです。

な観光ルートを開発すれば、もつと伊予市の良さがアピールでき、人が集まってくると思います。  
**市長** ささまざまなご意見、ありがとうございます。人口や世帯数を考えると現状維持が困難な時代になっています。だからこそ、未来に希望の持てる、輝きのある伊予市であるために、今すべきことを真剣に考えないといけません。またこれまでの行政の目標や施策は総花的なものが多く、具体性に欠けていました。しかし今後は、市民目線での具体的な施策を実行することが伊予市の発展に繋がると思います。本日は伊予市の未来に繋がる貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。



が完成しますので、「道の駅なかやま」を拠点にまちづくりを進めていきたいと思いますが、市長にはマスコミへの露出を含め、トップセールスを期待しています。  
**相田** 私たちの地域でも「地域の困りごと」は地域全体で取り組み、解決していこう」とみんな



話し合っています。その中でも交通事情が問題になるのですが、コミュニティバスは週3回なので移動が制限されます。何か良いアイデアがあれば、教えていただけると助かります。

**伊藤** ”私ができること“は、まずは本業のパン屋を続けることです。2015年にオープンしたときは近辺にお店は無かったのに、最近、飲食店などが数軒でき、小さなビジネスが始まっています。店舗数が増えれば滞在時間も長くなるので良い傾向だと思っています。事業展開するためには法規制の問題も出てくると思うので、住民と行政と一緒に考えていくような体制が必要だと思っています。

**西山** 私はInstagramとツイッターをしているので、それを使って伊予市の魅力を発信できると思います。これから社会人になる世代としては、伊予市で働きたい“と思えるような制度の情報発信や施策を進めてもらえる

と、地域に残りたいと考える人も増えてくると思います。

**西田** 結婚後、伊予市にきた私は、子育てに関する情報の入手方法が分からず、とても不安でした。今は働きながら子育てをする立場になったので、これから母親になる方に私の経験をアドバイスできると思います。そのような場を土日に設けてもらえれば、多くの人が参加できると思います。



**利岡** これからのバリアフリーは障がい者だけでなく、お年寄りなど社会的に弱い人たちの目線で考えることが大切だと思います。その一環として、視覚障がい者という立場で必要な情報を提供していくことが、私のできる

ことだと考えています。  
**市長** 宮本さんの佐礼谷地区は住民のまちおこし活動が活発ですね。これからの時代、行政も含めて受動的ではなく能動的に動ける地域はどんどん活性化していくと思います。

相田さんからは交通弱者の切実な話が出ました。限られた財源の中で最も効果的な方法を模索していますので、ぜひご意見をお寄せください。

伊藤さんがお住まいの翠校区には、木造校舎の翠小学校や飲食店以外にもいちご狩りやピザづくりを体験できる場所があり、何より滞在したくなるロケーションがあります。双海地域のほかの魅力も含め発信していきたいと思っています。

西山さんからは若者向けの情報発信として、SNSの活用のご提言をいただきました。今後、一つの手段として取り組みたいと思いますが、広報紙などの紙媒体から情報を得ている方もまだ

将来像

# まち・ひと ともに育ち輝く 伊予市

まち・むらにあったまちづくりを進めます  
～まちからむらへ 今から未来へ～



2019年度開通予定  
中山スマートインターチェンジ

スマートインターチェンジの開通により、高速道路利用者の利便性の向上はもとより、災害時における救助・救護活動及び物資輸送ルートの確保に伴う多重性の確保、救急医療機関への搬送時間の短縮による救命率の向上、輸送時間短縮による地域産業の活性化など多様な役割が期待されています。

伊予市の  
解決すべき  
課題

生活環境の  
向上

経済環境の  
充実

市民と  
住民意識の  
改革

In order to grow not only as a city but together with its citizens, Iyo City has mapped out guidelines, in the Second Iyo City Integration Plan. To help maintain its population of 30,000, the city created a slogan, "Grow & Shine together, the City and its Citizens" as a future image of the city, and it set up three strategic plans with the environment, industries, and the reform of awareness as main themes. 5 basic goals were established and are based on these plans.

基本構想

3万人が住み続けられる  
**環境**をつくります

未来  
戦略  
1

- 快適環境い～よプロジェクト
- 健康でいよう！スポーツプロジェクト
- みなさん伊予へいらっしゃいプロジェクト

3万人を支える  
**産業**を育てます

未来  
戦略  
2

- 立ち止まり 感じる ひとづくり GT⇒CT プロジェクト
- 「あじ」なまち応援プロジェクト
- 小さな事業から大きな産業へプロジェクト

3万人の力を結集できる  
**意識改革**を行います

未来  
戦略  
3

- 「イヨ」発信プロジェクト
- 地産地消プロジェクト
- 協働推進プロジェクト

基本目標 1

創造  
快適空間都市の

基本目標 2

創造  
健康福祉都市の

基本目標 3

創造  
生涯教育都市の

基本目標 4

創造  
産業振興都市の

基本目標 5

創造  
参画協働推進都市の



# 快適空間都市の創造

Create a city with comfortable spaces



City planning endeavors to create a comfortable living space for everybody and at the same time to make it resistant to natural disasters. We strive to facilitate communication among wider communities and create a dynamic place to live. It is part of the goal to support the downtown economy and make the city 'compact' so that it has high accessibility for citizen's needs. Furthermore, we aim to create an environmentally friendly recycling-based society and introduce renewable energy sources.



■誰もが住みやすい都市空間づくりの推進、今後発生が予想される地震や津波、局地的な豪雨等による水害などから市民を守る災害に強いまちづくりに努めます。

■定住人口の受け皿となる快適な居住空間の形成、市内の生活道路の整備による、広域的な交流の拡大や活力ある生活圏の形成に取り組みます。また、都市機能の最適な配置や地域公共交通の充実により、中心市街地の活性化や市民生活の利便性が高いコンパクト（＝歩いて暮らせるよう）なまちづくりを目指します。

■豊かな自然を次世代へつないでいくために、自然環境に配慮した循環型社会づくりを目指します。また、リサイクルのさらなる普及や再生可能エネルギーの導入を進めます。

住みやすい都市空間づくり

人に優しい道路・交通体系づくり

情報化社会に対応した基盤づくり

安らぎのある住環境づくり

潤いのある水環境づくり

安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり

循環型社会構築に向けた環境づくり





# 健康福祉都市の創造

Create a city which values health and welfare



次代を担う子どもたちの育成支援

生涯にわたる健康づくり

健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践

心の通った社会福祉の推進

保健・医療・福祉の連携を推進し、あらゆる世代に適応した未病対策・介護予防・健康づくりに取り組み、地域医療の充実を図りながら健康寿命の延伸を目指し、最適な医療を受けられるように努めます。

これまで進められてきた支えあいや助けあいの地域コミュニティ活動に対する積極的な支援を行い、地域福祉の強化に努めます。

子どもたちが健やかに成長するために、分野を横断した連携により子育て支援に努めます。

市民と行政、事業者やボランティアなどが連携し、高齢者の生きがいづくりや活躍の場づくり、障がい者の暮らしを支えるサービスや社会参加の促進、就労などの支援の拡充に努めます。



We are proceeding with policies of illness prevention and preventive measures against illness to reduce the number of bed-ridden people, enhance the health of citizens, and increase the longevity of citizens. We aggressively support local community activities and strengthening of local welfare and at the same time offer supportive measures to help child-bearing through cross sectional cooperation within the departments of the city offices. In addition, efforts to extend services to support the elderly and handicapped citizens' lives are made.



# 生涯教育都市の創造

Create a city of life-long learning



We help schools to cultivate their own unique characteristics and to foster healthy children by cooperation between home, community, and school. We assist in the passing down of our local traditions and culture and creating an environment where people can learn throughout their lives. In addition, through facilitating sports activities, we hope to create a community where people live active and healthy lives.



■ 未来を担う子どもたちが、たくましく社会の中で生きていけるよう特色ある学校づくりを進め、家庭・地域・学校それぞれが役割を果たしながら連携し、子どもたちの健全な育成に努めます。

■ 市民一人ひとりが心の豊かさを実感できるように、多様な学びの機会の充実を図るとともに、地域固有の伝統・文化を未来へ継承するよう努めます。

■ 芸術・音楽など自主的な文化活動を支援し、生涯を通じて学ぶことができる環境を提供します。

■ 市民が個々の興味や関心に応じてスポーツに親しむことができる機会を確保するとともに、心身ともに健康に暮らせて、元気に活動できる人が増えるまちづくりに努めます。

学校教育環境の整備・充実

誰もが平等な社会づくり

生涯にわたり学習できる環境づくり

誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興

個性豊かな文化の振興





# 産業振興都市の創造

Create a city with an active economy



魅力ある農業の振興

持続的な林業・水産業の振興

活力ある商業・工業の振興

賑わいのある観光の振興

食と食文化を活かしたまちづくり

■産学官の連携によるものづくりの推進、次世代産業の育成・強化に努め、企業の競争力強化を図ります。

■近隣自治体と連携した広域的な観光振興を図ります。農林業・水産業の担い手の確保・育成を支援し、経営の安定性、生産性の向上に努めることも、農商工連携や地産地消の拡大による農業振興を図ります。食と食文化を伊予市のブランドとして確立し、活力あるまちづくりに努めます。

■地域資源を活用し、伊予市の魅力、強み、賑わい、新たな仕事などを生み出す仕組みづくりを進め、働く場の創出支援に努めます。

■市民、事業者が主体となり伊予市の魅力を発信して来訪者を誘引し、社会的・経済的活力を高めます。

■技術や技能等の向上支援、若者や高齢者等の創業支援等に努めます。



We promote industry, academia, and government collaboration and help increase local businesses competitiveness. We also try to facilitate tourism and establish unique local food brands to promote a strong economy. Furthermore, by utilizing local resources, the goal is to create new business opportunities and encourage entrepreneurship with the youth and the elderly communities.



# 参画協働推進都市の創造

Create a city of participation and cooperation



We positively support local citizens' participation in their autonomous associations and create a community where citizens and the municipality both participate in making a better community. We try to facilitate administrative reforms to facilitate gender-equal opportunities and to create a community where everyone can give fully according to their own abilities. Furthermore, it is a part of the goal to streamline municipal organizations, increase city employee awareness, and create an administrative system to listen to citizens' voices.



■自治会活動を積極的に支援するとともに、市民と行政の協働によるまちづくりに努め、市民一人ひとりがいきいきと活躍できる場の提供に努めます。

■市民と行政が多様な価値観を認め合い、情報の共有を図りながら、協働によるまちづくりを進めます。

■地域の課題解決に向けて取り組むため、その手段・手法の構築に努めます。男女共同参画社会の形成に取り組みます。

■限られた予算の中で、健全な行政経営に取り組んでいくために、精力的に行財政改革を進めます。

■質の高い行政サービスの提供のために、効率的な組織体制づくりや職員の意識改革を推進します。市民が必要とする行政情報を入手しやすくするとともに、市民の声が行政に届く環境を整え、持続可能な健全な財政基盤の確立を目指します。

市民が主役のまちづくり

男女共同参画社会の実現

効率的で透明性の高い行財政運営







## 議会

Iyo Municipal Assembly



本会議は原則として公開されており、簡単な手続き（氏名・住所を傍聴人名簿に記載）で傍聴できます。

伊予市議会は19人の議員で構成されています。市議会では、市民の意思を市政に反映させるため、条例や予算などについて審議し、市政に関する基本的事項を決めています。市議会と市長は互いに独立した立場に立って、市民生活の向上を目指し、共に市政運営に努めています。

市民代表の議員と市長が協力し、市民生活の向上を目指し市政運営に努めています。

The Iyo City Council consists of 19 council members. They discuss and review ordinances and budgets of the city and determine basics of the city's municipal administration. The council and the mayor cooperate with each other, with their own standpoints, to improve conditions for citizens.

## 行政

Administration



平日は市役所に来られない方のために、毎月第4日曜日に休日窓口を開設するなど、利便性向上に努めています。

伊予市自治基本条例の理念のもと、まちづくりの主役である、市民と行政の協働によるまちづくりを進めていきます。また質の高い行政サービスを提供するために、効率的な組織体制づくりや職員の意識改革に努めるとともに、自治体規模に応じた財政運営により、持続可能で健全な財政基盤の確立を目指しています。

”市民が主役のまちづくり”の実現を目指し、効率的で透明性の高い行財政運営を推進しています。

We aim at creating a community where citizens play leading roles and facilitate citizens' participation in the municipal administration. In order to provide administrative services of high quality, we strive to streamline municipal organizations and continue to improve city employee awareness as well as establish a sustainable and healthy financial administrative base.



## 名誉市民

### 故城戸 豊吉氏

旧伊予市 初代市長



明治24年11月24日、尾崎に生まれる。弓削商船中退。旧郡中町議、町長を歴任し、昭和30年、旧伊予市の初代市長に就任。市の基盤を確立し、郷土発展と産業文化の向上に大きく貢献した。氏は、50年にわたり、伊予の「花かつお」の製造に専念し、水産加工業界の発展に寄与することが大きかった。

昭和33年、黄綬褒章受章。

昭和40年、73歳で死去。同年勲六等瑞宝章受章。

(昭和38年9月8日贈)

### 故武知 勇記氏

元郵政大臣



明治27年7月17日、下三谷に生まれる。明治大学卒業。氏は25歳の若さで政界入りし、以来、松山市議、県議を経て昭和5年、衆議院議員に当選し、通信政務次官を務めた。戦後、昭和29年の第1次鳩山内閣のとき郵政大臣に就任。また、財界でも重きをなし、愛媛新聞社長、愛媛新報副社長、山下汽船及び大王製紙顧問などを歴任した。郷土愛の精神に徹し、郷土の開発に貢献した。

昭和38年、70歳で死去。勲一等瑞宝章受章。

(昭和38年9月8日贈)

### 故松田 彌太郎氏

旧双海町 初代町長



明治36年2月11日、双海町関住に生まれる。昭和17年旧下灘村（現在の双海町下灘地区）議会議員、昭和24年には議長のを職を歴任し、昭和26年旧下灘村長に就任した。その後、昭和30年、旧双海町発足の初代町長（3期12年）に就任。その温厚誠実な人柄と見識をもって町政の発展に尽力し、とくに教育・福祉・文化施設の整備、道路・漁港の改修整備等を献身的に成し遂げた。

昭和53年、勲五等双光旭日章受章。昭和61年、83歳で死去。同年、叙正六位。

(昭和50年4月贈)

### 故玉本 善三郎氏

旧伊予市 元市長



明治39年3月31日、三島町に生まれる。京都帝国大学卒業。昭和30年、伊予市発足と同時に、市議として市政に参加。以来、副議長、議長のを職を歴任し、昭和34年旧伊予市の第2代市長に就任。初代市長の基盤確立期から、発展期へと市政を継承し、連続4期16年間の長きにわたり、その誠実な人格と見識を持って安定した市の発展に貢献した。

昭和51年、勲四等瑞宝章受章。昭和60年、79歳で死去。

(昭和50年10月1日贈)

### 故岡本 要氏

旧伊予市 元市長



大正13年1月2日、中村に生まれる。旧制県立松山中学校卒業。北山崎農業協同組合組合長などを経て、合併統合による伊予農業協同組合誕生と同時に初代組合長に就任。その後、昭和50年に旧伊予市の第6代市長に就任し、以来、5期連続20年にわたり市政を担当し、臨界埋立造成事業、工業団地造成事業、住宅団地造成事業など、21世紀へのまちづくりの基礎を築いた。

平成7年、勲四等旭日小綬章受章。平成25年、89歳で死去。

(平成7年10月1日贈)

## 市政・市議会

### 歴代市長

| 代順 | 氏名    | 任期                    |
|----|-------|-----------------------|
| 初代 | 中村 佑  | 平成17年4月24日～平成21年4月23日 |
| 2代 | 中村 佑  | 平成21年4月24日～平成25年4月23日 |
| 3代 | 武智 邦典 | 平成25年4月24日～平成29年4月23日 |
| 4代 | 武智 邦典 | 平成29年4月24日～在任中        |

### 歴代副市長

| 代順 | 氏名    | 任期                    |
|----|-------|-----------------------|
| 初代 | 土居 民雄 | 平成19年4月 1日～平成21年5月 9日 |
| 2代 | 篠崎 末廣 | 平成21年5月28日～平成22年7月 1日 |
| 3代 | 岡井 英夫 | 平成22年7月26日～平成25年6月17日 |
| 4代 | 山先 森繁 | 平成25年6月19日～平成29年6月18日 |
| 5代 | 山先 森繁 | 平成29年6月19日～在任中        |

### 歴代議長

| 期別  | 代順 | 氏名    | 就任年月日       | 退任年月日      |
|-----|----|-------|-------------|------------|
| 第1期 | 初代 | 日野 貞博 | 平成17年5月 10日 | 平成17年8月24日 |
|     | 2  | 田中 裕昭 | 平成17年9月 8日  | 平成18年6月 9日 |
|     | 3  | 竹本 清  | 平成18年6月 9日  | 平成19年6月 7日 |
|     | 4  | 高橋 佑弘 | 平成19年6月 7日  | 平成20年6月 6日 |
|     | 5  | 日野 正則 | 平成20年6月 6日  | 平成21年4月23日 |
| 第2期 | 6  | 若松 孝行 | 平成21年5月 1日  | 平成22年6月 7日 |
|     | 7  | 久保 榮  | 平成22年6月 7日  | 平成23年6月 9日 |
|     | 8  | 田中 弘  | 平成23年6月 9日  | 平成24年6月 8日 |
|     | 9  | 平岡 一夫 | 平成24年6月 8日  | 平成25年4月23日 |
| 第3期 | 10 | 佐川 秋夫 | 平成25年5月 1日  | 平成26年5月20日 |
|     | 11 | 田中 裕昭 | 平成26年5月20日  | 平成27年5月18日 |
|     | 12 | 正岡 千博 | 平成27年5月18日  | 平成28年5月20日 |
|     | 13 | 武智 実  | 平成28年5月20日  | 平成29年4月23日 |
| 第4期 | 14 | 若松 孝行 | 平成29年5月 1日  | 平成30年5月 1日 |
|     | 15 | 佐川 秋夫 | 平成30年5月 1日  |            |

### 歴代助役

| 代順 | 氏名    | 任期                    |
|----|-------|-----------------------|
| 初代 | 土居 民雄 | 平成17年5月10日～平成19年3月31日 |

### 歴代収入役

| 代順 | 氏名    | 任期                    |
|----|-------|-----------------------|
| 初代 | 下久保義一 | 平成17年5月10日～平成19年3月31日 |

### 歴代教育長

| 代順 | 氏名    | 任期                    |
|----|-------|-----------------------|
| 初代 | 上田 稔  | 平成17年5月12日～平成21年5月11日 |
| 2代 | 宮岡ケイ子 | 平成21年6月18日～平成22年5月11日 |
| 3代 | 春田 勝利 | 平成22年5月12日～平成25年4月23日 |
| 4代 | 渡邊 博隆 | 平成25年5月15日～平成26年5月11日 |
| 5代 | 渡邊 博隆 | 平成26年5月12日～平成30年5月11日 |
| 6代 | 渡邊 博隆 | 平成30年5月12日～在任中        |

### 歴代副議長

| 期別  | 代順 | 氏名    | 就任年月日      | 退任年月日      |
|-----|----|-------|------------|------------|
| 第1期 | 初代 | 田中 弘  | 平成17年5月10日 | 平成18年6月 9日 |
|     | 2  | 日野 健  | 平成18年6月 9日 | 平成19年6月 7日 |
|     | 3  | 大西 誠  | 平成19年6月 7日 | 平成20年6月 6日 |
|     | 4  | 久保 榮  | 平成20年6月 6日 | 平成21年4月23日 |
| 第2期 | 5  | 武智 実  | 平成21年5月 1日 | 平成22年6月 7日 |
|     | 6  | 青野 光  | 平成22年6月 7日 | 平成23年6月 9日 |
|     | 7  | 武智 邦典 | 平成23年6月 9日 | 平成24年6月 8日 |
|     | 8  | 佐川 秋夫 | 平成24年6月 8日 | 平成25年4月23日 |
| 第3期 | 9  | 岡田 博助 | 平成25年5月 1日 | 平成26年5月20日 |
|     | 10 | 正岡 千博 | 平成26年5月20日 | 平成27年5月18日 |
|     | 11 | 谷本 勝俊 | 平成27年5月18日 | 平成28年5月20日 |
|     | 12 | 日野 猛仁 | 平成28年5月20日 | 平成29年4月23日 |
| 第4期 | 13 | 門田 裕一 | 平成29年5月 1日 | 平成30年5月 1日 |
|     | 14 | 北橋 豊作 | 平成30年5月 1日 |            |



彩 りにあふれた景色

豊かな食と

健やかな暮らしで

心も身体も美しくなっていく。

いいまち、いよし。ますます、いよし。



市章

「い、よ」の文字をモチーフに豊かな緑や海などの自然や太陽、人々が未来へ躍動する姿を「無限大∞」のフォルムに重ね合わせて表現。「ひと・まち・自然が出会う郷」伊予市がさらに発展、飛躍していく姿をシンボライズしました。



市の花「菜の花」

一本一本は小さいけれど、一面に咲く姿は黄金を敷き詰めているようで、その光景は圧巻。春に向かって見る人に何か元気を与えてくれ、その姿は明るく伸びていく伊予市の姿をイメージできる花です。



市の木「メタセコイア」

数々の伝説を残し、化石になっても語り継がれており、伊予市の記念樹（シンボル）としてふさわしい。伝承と記念物として、また、伊予市のオリジナリティをアピールできる木です。

伊予市勢要覧 2019

発行 愛媛県伊予市 発行年月 平成 31 年 3 月  
〒799-3193 愛媛県伊予市米湊 820 番地  
TEL 089-982-1111 (代)  
ホームページ <http://www.city.iyo.lg.jp/>  
制作・印刷 佐川印刷株式会社



IYO CITY OUTLINE 2019

Publisher: Iyo City Government  
820 Kominato, Iyo city, Ehime 799-3193  
Tel: 089-982-1111 (key number)  
Date of publication: March 2019



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
<http://www.e3pa.com>